

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	40	利用者の言葉や行動を忙しさの中で対応すると誇りやプライドを損ねることがある。	利用者の今までの生活歴、育った環境、性格を把握し、コミュニケーションを充分に行なうことで利用者の立場に立った声掛け支援を行なう。	利用者一人ひとりの入居当時の記録物を見たり、家族の方が面会に来た時に短い時間でも話し、日頃からコミュニケーションを取ることでより良い関係をつくっていく。	12ヶ月
2	23	一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めているが、会話が困難な人や、うまく自分の意志を伝えることができない人の希望に沿えないことがある。	うまく意志が伝えられない人に対してもコミュニケーションをとり、一人ひとりが暮らしやすく安心して生活できる介護に努めたい。	一人ひとりの顔の表情や仕草などをしっかり観察し、日頃とは違う様子や、変化をつかみ取るように心がける。	12ヶ月
3	44	食事が楽しみな物になるように一人ひとりの好みや力を活かしながら利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしていきたい。	旬の食材をできるだけ使用するように心がけている。行事や祝い事なども取り入れ、利用者と一緒に楽しんで行なう。	利用者と一緒に調理を手伝ってもらいながら、色々な食べ方を聞いたり思い出話をする良い機会になる。花見には外食ばかりでなく弁当をつくることも良いと思う。	12ヶ月
4	47	排泄の失敗やオムツの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄パターン、習慣を生かしてトイレでの排泄に向けて支援を行なっていきたい。	一人ひとりのできること、できないことを見極め、介助が必要な場合は、排泄パターンや習慣を把握し誘導を行ない、オムツ使用者は1人もいない。	トイレの支援が必要な方には、排泄チェック表を記入し声掛けを行ない、自分でトイレに行く方には、排泄した頃に声掛け、さりげなく汚染などを確認し自尊心を傷付けないようにしている。	12ヶ月
5	53	ホーム周囲の散歩、ご本人の希望で家族と買物、カラオケ、図書館で好きな本を借りる、受診に出かけるなど希望をかなえていきたい。	本人の希望を聞きながら、家族の命日に花、供え物を買ったり、団地の中を散歩したり、本人と一緒にメガネを購入する。	一人ひとりの意見を聞き、体調に配慮して、行きたい所に行く、カラオケの好きな人には家族と出かけて楽しんでもらう。	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。